

# 川島グループ

# 経常益39億円と最高

## 4-9月非金属も堅調

非鉄総合商社、川嶋(本社・浜松市、川嶋義勝代表)を中心とする川島グループはこのほど、2022年4-9月連結決算(速報ベース)が売上高で約47.1億3200万円、経常利益で約39億7000万円となったことを明らかにした。上平期として過去最高水準の業績となった。主力の金属事業だけでなく、非金属事業も堅調に推移したことが寄与した。

同グループの連結決算はグループ各社の決算時期に差異があるため概算での計上になる。今上期は金属市況の高騰などを受けて金属関連事業が堅調推移し、経常利益の7割以上を占めた。非金属事

業でもゴルフなどのレジャー事業やシニアカー事業が好調で、業績に貢献した。ただ、下期は自動車減産の影響や金属市況が上期と比較して減速していることなどを受

け、2023年3月期の通期見通しは売上高で840億-850億円、経常利益で65億円前後を見込む。川嶋代表は「今上期は実力以上の結果となった。下期はさらに気を引き締め、より安定して利益を生み出せる

体制を目指す。そのためにも全社員のさらなるレベルアップを図っていきたい」などと語った。同グループはアルミ精錬や貴金属スクラップのリサイクル・リユ

ースなど非鉄金属関連分野で、幅広く事業を展開する総合非鉄リサイクル企業グループ。近年では不動産、レジャー、介護など金属以外にも幅広い分野で事業を展開している。